

栃木県農業の魅力を伝える情報誌「TOWANO」 Vol.3  
2020年 1月



# TOWANO

とちぎ

わくわく

のうぎょう

栃木県では子供たちに夢を与え、  
人をひきつける魅力ある農業・農村を実現するため、  
とちぎ農業“進化”躍動プランにもとづき施策を展開しています。  
『TOWANO』は、農業にたずさわる人々や多彩な農産物、農村の魅力など  
栃木県農業の今と“わくわく”をお伝えします。

- P.2 豊かな土地が育むとちぎのお米
- P.4 農が持つ多彩な効用
- P.6 知ってほしい栃木の人
- P.8 いちご王国総選挙



The rice of Tochigi

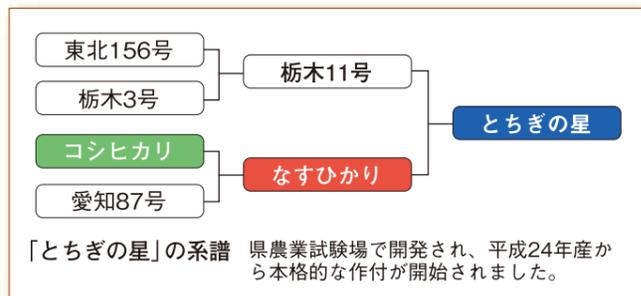
# 豊かな土地が育むとちぎのお米

栃木県は、豊かな水資源に恵まれており、耕地面積の8割を占める広大な水田では、「コシヒカリ」をはじめ、県オリジナル品種の「とちぎの星」、「なすひかり」などの良食味米や、大吟醸酒に適した酒造好適米「夢ささら」が生産されています。こうした豊かな土地が育むとちぎのお米を紹介します。

気象変動や病害など、様々な困難に打ち勝ち、燦然と輝く**栃木の星** となって欲しいという期待を込めて名付けられました。

## とちぎの星

～大粒で食味に優れた期待の星。高温・病害にも強い～



**食味の特徴** 大粒で粒がしっかりしているのが特徴で、冷めても美味しいので、おにぎりや寿司、丼物などによく合います。

**食味ランキング** (一財)日本穀物検定協会による食味ランキング\*で、平成27年産と平成29・30年産の合計3回、最高評価「特A」を獲得しました。

**食味ランキングとは?** (一財)日本穀物検定協会は全国の主な産地品種銘柄を対象に食味試験により5段階(特A, A, A', B, B')の評価を行い、毎年結果を公表している。

**栽培特性** 「とちぎの星」は暑さに強く、地球温暖化にも適応できる品種です。また、「コシヒカリ」や「なすひかり」に比べ病気にも強いいため、初の県下全域で普及可能な良食味の県オリジナル品種となりました。

### 「とちぎの星」は令和の大嘗祭に供納されました

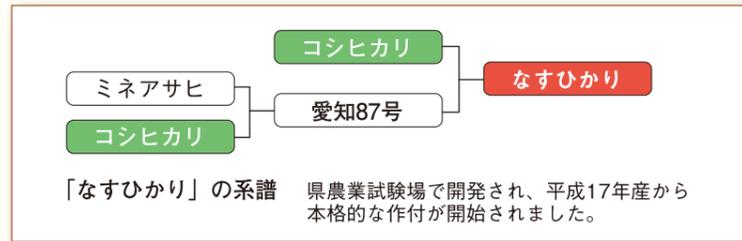
天皇陛下の皇位継承に伴う重要祭祀である大嘗祭に供納される米の産地は、宮内庁による令和元年5月の「斎田点定(さいでんでんてい)の儀」で栃木県が悠紀(ゆき)地方に選ばれました。宮内庁は、大嘗祭で供納される米を栽培する「斎田」を高根沢町と発表しました。「斎田」で栽培された品種は「とちぎの星」で、9月27日に大嘗祭で供納される米を収穫する「悠紀斎田抜穂(ゆきさいでんぬきほ)の儀」が行われました。収穫された「とちぎの星」は宮内庁へ供納され、11月14日・15日の大嘗祭の中核行事である「大嘗宮の儀」などで用いられました。



＜斎田抜穂の儀＞ 秋晴れの下で地元農業者が装束に身を包み、古式に則った儀式により「とちぎの星」を収穫しました。

## なすひかり

～コシヒカリの血を強く受け継ぐ県北部の良食味米～



- 食味の特徴** やや大粒で食感がよく、冷めても美味しく、おにぎりや寿司などによく合います。
- 食味ランキング** 食味ランキング\*で、平成22～27年産で6年連続(平成25年産は参考出品)及び平成30年産の合計7回、最高評価「特A」を獲得しました。
- 栽培特性** コシヒカリより収穫量が多く、県北部でも適する耐冷性を有しています。

## コシヒカリ

～お米の代名詞～

- 食味の特徴** 栃木県のコシヒカリは全国第3位の生産量を誇り、安定した食味と品質により、家庭用・業務用ともに高評価を得ています。
- 食味ランキング** 食味ランキング\*で平成25～28年産で4年連続、及び平成30年産の合計5回、最高評価「特A」を獲得しました。



## 夢ささら

～大吟醸酒に向く県オリジナルの酒米品種～

- 大吟醸酒に向く酒造好適米の開発 県農業試験場で平成17年から育種を開始。平成29年11月に品種登録を出願。平成30年産で11haの一般栽培。
- 「夢ささら」を使用した新酒 平成30年産の「夢ささら」を用い、県内27蔵元で「純米吟醸酒(精米歩合50～55%)」を醸造し、平成31年3月に一斉発売しました。
- 「夢ささら」の特性 心白(玄米の中心の白い部分)がはっきりしており、日本酒造りに適しています。日本を代表する酒米品種「山田錦」より稲が倒れにくく、つくりやすい品種です。



「夢ささら」統一ラベル



左「夢ささら」、右「山田錦」

# 食べて強くなるうプロジェクト

## 食べて強くなるうプロジェクトとは

子どもたちの健やかな成長のために、体づくりと密接な「スポーツ」を通して親しみやすく食の大切さを伝える啓発プロジェクトです。



「スポーツ」と「バランスのとれた食事」で強くなるう!

## 食育キャプテン

勝利のために日々「練習」と「バランスのとれた食事」を実践する、県内8つのスポーツチームに子どもたちのお手本である「食育キャプテン」を委嘱しました



左から  
那須ブラーゼン  
栃木サッカークラブ  
宇都宮ブレックス  
栃木ゴールデンブレーブス

H.C.栃木日光アイスバックス  
ホンダソフトボール部  
宇都宮プリツェン



グラクソ・スミスクライン・  
オレンジユナイテッド

小学校の  
スポーツ教室  
などで子どもたちに  
食の重要性を  
伝える活動をして  
いただいています。



小学校などを訪問し、キャプテンマークを巻いて、実体験をまじえながら食の大切さを伝えています。



子どもたちが食べて強くなるための合い言葉「おにぎり」

とちぎに広がる

# UNIVERSAL

## ユニバーサル 農業

誰もが元気&笑顔になれる  
とちぎの取り組み



## ユニバーサル農業って

UNIVERSAL = 「一般的」「共通」。

年齢や性別、障害の有無などに関わらず誰もが参加したり実践できる「農」の取組。特に期待されているのは福祉分野との連携。

「農」は癒しや、リハビリテーション等の驚くべき福祉力を持っています!

## 農 福 商 連携事例



### 『加工用いちごの収穫作業』

いちご農家は5月中旬以降、苗作りなど他の作業が忙しくなるため収穫に手が回りません。そこで、加工業者と連携し、福祉施設の障がい者に加工用いちごとして収穫してもらいます。

**農** JAうつのみや (宇都宮市)

**福** ひとつの花 (宇都宮市)、ポラリス (大田原市)

**商** フタバ食品(株) (宇都宮市)



栃木県産いちごを加工用として使いたかったのですが、手に入りにくく諦めていました。農福連携のおかげで、たくさんの加工用いちごを収穫できたので、栃木県産いちごを使用した商品の開発を進めることができます。(フタバ食品(株)より)



農福商連携により、栃木県産いちごの新たな可能性を生み出しました!



# 知ってほしい

# 栃木のヒト



栃木県では毎年300人を超える人が新たに農業を始めています。  
 県農業大学校のとちぎ農業未来塾では、就農準備のための研修を行っています。  
 一方で、農業団体や農家が研修生を受け入れているケースもあります。  
 今回は、個人的に研修生を受け入れ、人材育成を行っている遅澤さんと、  
 新たに栃木で農業を始めた西橋さんにお話を聞きました。

## 「新規就農への後押しが地域の継続に繋がる」

おそざわ よしのり  
 那須塩原市 遅澤 喜則さん

農家の長男に生まれた遅澤さんは、「まだ継ぐのは早いのでは？」という両親の反対を押し切り25歳で就農しました。最初に取り組んだのはシイタケ栽培で周囲に栽培方法などを相談できる人もいなく、苦労したそうです。その後、試行錯誤を繰り返しながら、技術を高め平成22年には栃木県農業士に認定され、現在はナス・ネギ・唐辛子・米などを栽培しながら、研修生の受け入れを積極的に行っており、後継者の育成にも尽力されています。



### 【遅澤さんに聞いてみました】

最近『田舎暮らし』の良さが見直され、農業をしながら田舎で暮らしたい、という人が増えていると聞きます。就農する方へは、行政からの支援があり、空き家などを活用すれば住む場所もある。あと足りないのは農業の素晴らしさと技術を伝え、地域に溶け込むきっかけを作ってあげる『人の和』だと思います。少子化や過疎化で人手が足りないところに、農業をやりたいと来てくれる人がいるのだから、それを支援することで、やがてこの地に根付いてもらい、地域の担い手になってもらいたい。研修生を受け入れ、そうしたモデルケースを作っていきたいと思っています。



## 「IT業界から農業へ。夫婦二人三脚でイチゴ栽培」

にしはし まさひろ  
 真岡市 西橋 昌洋さん

東京でIT関連の仕事をしていた西橋さんが就農したのは平成30年4月。15年前にワーキングホリデーで滞在したニュージーランドでの農業体験が心に残り、転職を考えた時「農業もいいな」と思ったそうです。その後、準備・情報収集を重ねながら、真岡市でのいちごの定植体験や収穫体験に参加、お子さんの小学校入学を機に真岡市に移住し就農しました。独立して2年目の今年はハウスを1棟増やし6棟に。今後も夫婦で協力しながら、さらなる収穫量アップを目指します。



### 【西橋さんに聞いてみました】

やるなら日本一の場所で勝負しよう、と真岡市での就農を決めました。農業次世代人材投資資金など行政のバックアップがあり、またJAはが野の新規就農塾の先生など、継続的に支援してくれる方もいます。地域には組合もあり、ビニールハウスの張り替えをお互いに協力して行うなど、情報交換ができることも助かっています。

農業は自然相手で、予想外の事態が起こったり、体力的にきつい時もありますが、自分の努力が形となりますし、頑張っている姿を子どもに見せられることもやりがいになっています。就農してよかったと思っているので、これからも技術を磨いていきたいと思っています。



### 栃木県新規就農相談センターのご紹介



相談風景



パンフレット

栃木県新規就農相談センターでは、「新規就農相談会inとちぎ」など年間12回県内外で相談会を開催し、新たに農業を始めたい方の相談を行っています。技術の習得や農地及び資金の確保などの悩みを気軽に相談ください。

<連絡先>

栃木県新規就農相談センター  
 TEL:028-648-9515  
 (公財) 栃木県農業振興公社内



候補名  
**あきね**  
秋から収穫でき、  
いくつ食べても  
飽きないいちご

候補名  
**とちあかり**  
家庭に「あかり」を灯して  
くれるようないちご

候補名  
**えみが**  
みんなが笑顔に  
なる果実

候補名  
**とちまる**  
みんなが  
「元気ニコニコ」  
になる、丸いいちご

候補名  
**とちあいか**  
とちぎの  
愛される果実

候補名  
**とちれいわ**  
新しい時代を  
切り開くいちご



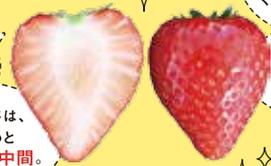
いちご新品種「栃木i37号」  
名称投票キャンペーン

# みんなで食べてみんなで選ぼう! いちご王国総選挙

販売開始(令和元年10月下旬)から令和2年3月15日(日)まで

酸味が少なく、  
甘さが際立つ。

果実の大きさは、  
とちおとめと  
スカイベリーの中間。



切り口は  
へた部分が  
くぼむハート型♡

収穫始めが  
10月下旬と  
早い。

いちご新品種「栃木i37号」の名称としてふさわしいものを一つ選んで投票してください。

投票いただいた方の中から抽選で「栃木i37号」を贈呈します。(賞品発送時期:令和2年11月頃)

### 投票方法

いちご新品種「栃木i37号」の包装フィルムまたは包装フィルムに貼付されたシールのQRコードから専用サイトにアクセスし、投票してください。

購入できる販売店等、キャンペーンの  
詳細については以下のHPにアクセス!

いちご王国栃木



※イベントでの試食会なども実施する予定です。

### お問い合わせ

(一社)とちぎ農産物マーケティング協会  
☎ 028 (616) 8787  
✉ admin@tochigipower.com

栃木県農政部経営技術課  
☎ 028 (623) 2313  
✉ agriinfo@pref.tochigi.lg.jp

### 注意事項

- 投票は1人1回までとさせていただきます(2回以上投票された場合は無効となります)。
- 当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 個人情報情報は賞品の発送以外には使用しません。

栃木県農業の魅力伝える情報誌「TOWANO」

# TOWANO

とちぎ わくわく のうぎょう

発行 栃木県農政部農政課  
住所 〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 県庁舎本館12階  
電話 028-623-2284  
ファックス番号:028-623-2340  
Email:nousei@pref.tochigi.lg.jp  
発行月 2020年1月



※本誌についてのお問い合わせは

栃木県農政部農政課

電話 028-623-2284